

2学年 学年だよ



令和4年11月2日
大和市立つきみ野中学校
第14号



合唱祭を終えて

今年度の合唱祭は、保護者の皆様と他学年の生徒という観客の前で行うことができました。本番の10日前に行われたリハーサルの時点では、まだまだ伸びしろがあったと感じました。そこで「昨年の音響設備の整ったシリウスのホールとは違い、自分たちががんばって声を出さないと客席まで声が届かないこと」「どの曲もとても素敵な歌詞なので、クラスで話し合って歌詞の内容をしっかりと届けて欲しいということ」を伝えました。すると、どのクラスも素晴らしい成長を遂げ、10月21日（金）の当日は、2年生らしく立派に発表ができました。練習する中で大変なこともあったと思いますが、最後には満足のいく「今までで一番良い合唱」ができたと感じた人がほとんどだったのではないのでしょうか。今年度の学校全体で行う行事はこれで終わりですが、3年生に向けてさらに良いクラスにしていけるように仲間を大切にしましょう。

合唱祭の作文紹介～今回は6～9組です！～



1～5組は次号です。
お楽しみに♪

『パートリーダーになって』

6組

今年の合唱祭で、私は初めてパートリーダーに立候補しました。元々、私は人の前に立ったり指示したりするのが苦手でした。だけど吹奏楽部に入り、ある程度音楽の知識が身についたことで、皆の力になれるならと思い、パートリーダーになりました。

今回のことで、私は音楽面はもちろん、人として成長できたのではないかと思います。人に対して指示しようとする、嫌われてしまうのではないかと怖がっていた私にとって、周りの人に指示することはとても勇気がいることで、新鮮なことでした。皆、ちゃんと受けいれて練習してくれたのでうれしかったです。

今年の合唱祭は私にとってとても有意義なものになりました。



『207の合唱』

7組

朝、「今日は合唱祭だ」と、すぐに目が覚めた。今年は去年とは違い、観客が多いせいか、とても緊張していた。それは、練習を積み重ねてきて「感動できる歌を歌いたい!」という気持ちもあったからかもしれない。私はアルトで、ソプラノやテノールとハーモニーをつくり、よりきれいな歌に仕上げるパートだった。けれど、最初は音程が正しいかどうかなどの不安で、声があまり出せなかった。練習で何度もCDを聞いて、同じパートの子と音程や歌詞を教えあった。ある日、歌詞の意味をクラスで話し合ったとき、この曲が震災で亡くなった方から“私たち”への強い励ましのメッセージであるということを知った。『どんなに今苦しくても、未来には花が咲いている』という想いは、私の心に響き、勇気をくれた。クラスの想いも一つになった。それからの練習では「花は咲く」にもっと気持ちを込めるために、息をそろえたり、表現の仕方を考えたりして、細かいところまで話し合った。練習していくたびに曲の完成度が上がっていく感じがして、とてもうれしい気持ちになった。ついに本番、学年合唱から気持ちを入れて歌った。そしてトップバッター7組。隣の子の顔を見てなんだか安心した。自分の周りには一緒に練習してきた仲間がいると思うと、いつの間にか緊張がなくなっていて、自信をもって歌いきることができた。それと同時に、「クラスが1つになれた」という大きな達成感も感じた。合唱を通して207がより成長できたと思う。私はこのクラスで「花は咲く」を歌えたことが、本当に良かったと思った。



『一つの歌へ向かうみんな』

8組

指揮台に立ったとき、みんなの緊張したガチガチの顔を見ていたら、なんだかおもしろくなってきた。待っているときは、ほんの少し緊張していたが、みんなを見ていると、そんな気持ちはふっとんでいった。合唱中はとても楽しかった。

音楽の授業中、なんとなく、このクラスは「合唱いけそー」とか思っていた。本格的に練習が始まってからも、みんな真剣だったので、きっと上手くいくだろうと思っていた。正直、途中心配になるときがあったのは確かだけれど、全体的に、みんなが一つのところに向かって頑張る感じがすごくよかった。指揮者として前から見ているときも、いい雰囲気だなと思った。また、日に日に上手くなっていく過程がすごく楽しかった。

本番直前、少し緊張もしたが、それよりも楽しみだった。みんな顔がガチガチだったことはよ〜く頭に残ってる。絶景だった。私しか見ることのできない景色だった。合唱も今まで一番よかったはず。いろんな人に8組の合唱をほめてもらえた。

私は指揮者として何ができていたのだろうか。そこはよくわからないけれど、来年もまた指揮台に立ちたいと思った。今年の3年生のようににはできないかもしれないけれど、またみんなのどんどん上手くなっていく合唱を聞いていたい。あの絶景もまた見たい。

みんなおつかレベルアップ😊



『成長を歌う』

9組

卒業式では、歌を歌う。その事が当たり前のように。なぜ歌を歌うのか。それは『自分たちがどれだけ成長したのかを、親に知ってもらうため』である。私はその意味が、さっぱり分からなかった。でも、今回の文化発表会の合唱でよく分かった。

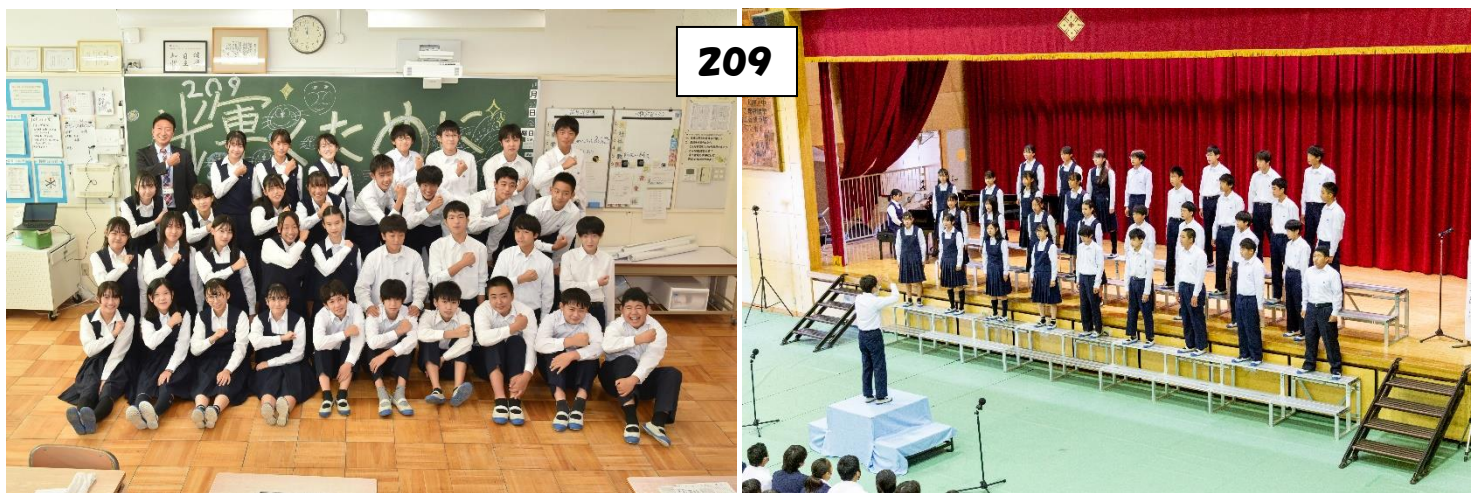
合唱祭に向けて、昼休みと放課後に練習をした。時には、音楽室や武道場など場所を変えて、練習することもあった。最初の方は、まだみんな、歌うことに必死で周り合わせることや強弱、表現がそろっていないこともあった。けれど、パート練でパートごとに表現や強弱を合わせる練習や歌うことに慣れると、他のパートの声も聞きながら歌えるようになり、歌にまとまりができた。もちろん、それだけで完成ではなく、声の大きさや細かい部分まで、改善点はたくさんあった。声のボリュームが一人ひとり違う中で、声の大きさを合わせるのは難しかった。でもな

るべく声が大きく出せるように、声の小さい人を声の大きい人で挟んだり工夫をした。私は伴奏者だったので、クラス練習の時に、みんなの歌を聞き、みんなの変化を感じていた。

練習を重ねていく中で、指揮者、伴奏者、先生、パートリーダーが、「もっとこうしたら良い」というアドバイスを、みんなに伝えた。言われてすぐに直すのは難しいことだけど、みんなすぐに修正してくれて、伴奏もしやすくなった。練習なのに、すごく盛り上がって、弾くことができた。ときどき、伴奏と声が合わないこともあり、苦戦したこともあったけれど、みんなが本気で練習してくれたおかげで、合うようになった。

そして本番。最初の時よりも、まとまりがあり、練習中に言われたことをきちんと取り入れて歌っていたため、伴奏も楽しく演奏することができた。まさに“成長”を感じた。

自分たちがどれだけ理解し、成長できたかを親に知らせる。その意味がようやく分かった日だった。



保護者の皆様へ

合唱祭当日はたくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。昨年同様 DVD の販売があります。封筒を先日配付いたしました。購入を希望の方は 11月11日(金)までに担任までご提出をお願いします。後日 Snap Snap での写真の販売も予定されています。準備ができましたらお知らせいたしますので、ご確認をお願いします。